

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	NPO 法人アイゼン
-----	------------

取組の名称	百合ヶ丘・新百合ヶ丘・柿生片平・南生田・中野島子ども食堂
実施場所	<p>① 百合ヶ丘会場 百合丘ルミナス保育園 麻生区百合丘１－１９－２</p> <p>② 新百合ヶ丘会場 麻生プレップスクール 麻生区万福寺１－１０－１０</p> <p>③ 柿生片平会場 「結」ケアセンターあさお 麻生区片平２－２２－１－１０３</p> <p>④ 南生田会場 「結」ケアセンターいくた 多摩区南生田１－３１－７</p> <p>⑤ 中野島会場 「結」ケアセンターたまがわ 多摩区中野島１６５５－１</p>
対象地域	<p>① 百合ヶ丘駅周辺</p> <p>② 新百合ヶ丘駅周辺</p> <p>③ 柿生駅周辺</p> <p>④ 南生田１丁目周辺</p> <p>⑤ 中野島駅周辺</p>
対象地域の特色・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興住宅や高級マンション、集合住宅があり、移住してきた人や、職場が都内などの人が多く、地域との関りが少ない共働きの子育て世代が多くいる。(①・②・③・⑤)</li> <li>・小田急線が谷沿いにある、その両側が丘になっているような地形で、坂が多く、商店街や飲食店は駅前に集中している。(①・④)</li> <li>・貧困家庭も混在している現状ではあるが、保護者は周囲</li> </ul>

	<p>から貧困がわからないよう気を遣っている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き世帯やひとり親世帯の増加により、特に保護者の地元ではない場合、1人で食事を取る子どももいる。</li> <li>・特に集合住宅や転入者が多い地域では地域との接点を持ちづらい家庭が多く、子どもや保護者にとってまちのひろば的な居場所が少ない。</li> <li>・共働き家庭に対する支援が少ないと感じている声を多く耳にする。</li> <li>・経験が得られる場や地元での繋がりなど学生が意義を感じるボランティア活動の場が少ない。</li> </ul>		
<p><b>取組の趣旨・目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童や習い事から帰った後、1人で夕食をとっている子どもや、子育てを頑張るパパ・ママが、地域で安心・安全を感じることが出来る居場所作りを目指す。</li> <li>・子ども・若者が健やかに成長出来るよう、地元法人や店舗・地元住民や学生と連携・協働しながら、地域のつながり、互いに助け合い、支え合うことの出来るまちづくりを目指す。</li> </ul>		
<p><b>実施内容・実施スケジュール</b></p>	<p>一食あたり子ども100円、大人250円で食事(カレー)を提供する。</p>		
<p><b>参加者の年代</b></p>	<p>子ども、子育て中の保護者、地域の方</p> <p>子ども</p> <p>0歳～15歳</p> <p>保護者</p> <p>25歳～45歳</p> <p>地域の方：～70歳</p>	<p><b>定員</b></p> <p>(1回あたり)</p>	<p>200人程度</p>
<p><b>実施頻度</b></p>	<p>1回/月</p> <p>毎月第3木曜日</p>	<p><b>活動日数</b></p> <p>(年間)</p>	<p>60日/年</p> <p>(月1回×5会場×12か月)</p>
<p><b>スタッフ体制</b></p>	<p><b>【開催場所における協力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回あたり、40～60名程度の方(地域の方・会場の保育士・介護士・店員さん、来場者など)にお手伝い頂いている。</li> <li>・会場は、地域のデイサービス、保育園、塾など。空いている時間を地域の企業さんがご厚意で貸してくださっている。</li> </ul>		

	<p><b>【運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主に大学生が物品の準備、スタッフ・会場の調整等を会場に近い地元の方と連携しながら行っている。最近では地元の高校生の参加も増えている。(学生ボランティアは、常時20名程度が参加、70名程度の登録。)</li> <li>・調理は、地域の有志の方が行っている。(学生～90代の方10名程度) また、デイサービスの会場については、デイサービスのご利用者さんが調理のお手伝いをしてくださっている会場もある。</li> <li>・理事は、運営のサポート・コーディネートなどを行う。</li> </ul>
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>連携する団体等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩区・麻生区の小学校(真福寺、柿生、長沢、南生田、麻生、中野島など)、中学校(麻生、長沢、南生田、柿生、中野島)</li> </ul> <p>→チラシの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩区・麻生区の保育園・幼稚園・商店など20ヶ所以上</li> </ul> <p>→チラシの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会</li> </ul> <p>→給食で使わなかった食材を頂く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・links(明治大学ボランティアサークル)</li> </ul> <p>→ボランティアスタッフとして</p> <p>手法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の母校の先生などへの連絡など</li> <li>・地元の農家さんや企業、地域住民の方から収穫物やお米、お菓子等のご寄付を頂く。頂いたものをカレーの材料や子ども食堂に来てくださった方に配布している。</li> </ul> <p>Instagramやお電話、メール等でのボランティアの応募や寄付等について多くのお問い合わせを頂いている。</p>

<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月チラシを配布することで、子ども食堂の認知度が高まり、毎回新たな参加者が来てくださったことに加え、継続的に参加して下さる方も増え、子ども食堂が地域の一つの居場所になっていると感じた。</li><li>・保護者から「毎月開催してくれて助かる」、「普段、あまり食べない子もここだと食べてくれる」、「お兄さんお姉さんと遊べて子どもも楽しそうで嬉しい」等といったお声を頂くことができ、働くパパ・ママへの支援につながっていることが実感出来た。</li><li>・ボランティアとして参加する高校生や大学生も多く、スタッフの居場所にもなっていた。</li></ul>
----------------------------	--